

R06 年度 測量士試験 問題 午前 No20 (写真測量)

<R06-No20 : 写真測量 : 問題>

次の 1~5 の文は、公共測量における UAV (無人航空機) レーザ測量について述べたものである。
明らかに間違っているものはどれか。次の 1~5 の中から選べ。

1. 標準的な計測点間隔は、要求点間隔 (要求点密度等を満たすために均等かつ最小限に計測する場合の点間隔) と定数を用いて、計測点間隔 = 要求点間隔 / θ (ただし、 θ は 1.1~1.5) で求めることを標準とする。
2. スキャン角度は、計測対象物へのレーザ光の入射角を 45° 以上とするとともに、必要な計測距離を満たすように定めることを標準とする。
3. 計測対象物との距離は、使用するレーザ測距装置の最大測距距離の 80%以下となるように定めることを標準とする。
4. コース間重複度は、30%以上とすることを標準とする。
5. UAV の位置の決定は、GNSS によるキネマティック法で行うものとし、キネマティック解析で用いる固定局は、計測地域から直線距離で 80km を超えないものとする。